

# Johann Sebastian Bach

バッハのカンタータは森羅万象、人の行動・感情などの音楽表現の宝庫です。今回は人生における時・機会にまつわる作品を取り上げました。人生において生（誕生）と死に次ぐ大きなイベントである「結婚」を寿ぐカンタータ2曲(BWV97・BWV196)と、死を前にした時に抱く様々な想いを綴るカンタータ2曲(BWV8・BWV26)を中心に演奏いたします。バッハの豊かな感性と技巧の粋をお楽しみいただきましたら幸いです。



テノール：沼田 臣矢 Shinya Numata

東京芸術大学大学院古楽科修了。これまでに J. S. バッハ《マタイ受難曲》、G. F. ヘンデル《メサイア》、F. J. ハイドン《天地創造》など、宗教音楽のテノールソリストを務める。またアンサンプリストとして Bach Collegium Japan、Harmonia ensemble などに出演。川越クラシック演奏家協会会員。ノヌラマクタラ室内楽団代表。



バス：黒田 祐貴 Yuki Kuroda

東京芸術大学音楽科卒業。同大学院音楽研究科修士課程オペラ専攻修了。平成 25 年度・27 年度公益財団法人青山財団奨学生。学部在学中に安宅賞、卒業時に大賀典雄賞・松田トシ賞・アカンサス音楽賞・同声会賞を受賞。第 3 期宗次徳二特待奨学生。大学院修了時に大学院アカンサス音楽賞を受賞。これまで西野正道、直野資、勝部太、萩原潤の各氏に師事。



通奏低音：圓谷 俊貴 Toshiki Tsumuraya

福島県出身。東京芸術大学音楽学部声楽科テノール専攻、器楽科古楽チェンバロ専攻の両科を卒業。モーツァルト「レクイエム」にてテノールソリストとしてデビュー、ヘンデル「メサイア」等の宗教曲ソリストとして活躍。また、チェンバリスト、通奏低音奏者としても様々な公演に参加。伴奏ピアニスト、コレペティートルとしての評価も高く、様々な歌手と共演を重ね信頼を得ている。声楽を鈴木寛一、Gerd Turk、Rufus Muller、野々下由香里の各氏に、チェンバロを大塚直哉、広沢麻美の各氏に、ピアノとフォルテピアノを小倉貴久子氏に師事。



指揮：橋本 眞行 Masayuki Hashimoto

愛媛大学合唱団指揮者を経て東京バッハ合唱団入団後、大村恵美子氏指導のもと、小林道夫、H.リリング、若杉弘各氏の指揮のもとでバッハ作品を勉強。更に東京スコラ・カントーラムのメンバーとして黒岩英臣氏指揮のもとグレゴリオ聖歌から近代に至る宗教曲を勉強。その後も国内外で、H.ヴィンシャーマン、H.リリング、H.ドレンゲマン、P.ノイマン、H.M.ボイアーレ氏指揮によるバッハ・モーツァルト・メンデルスゾーン・ブラームス等のオラトリオ作品演奏に参加し研鑽を積む。1978年松山バッハ合唱団結成以来指揮者を務めている。伸びやかで自然な響き作りと躍動感のある音楽作りに定評があり、東京でも東京バッハ合唱団副指揮者を経て、2009年からバッハカンターテンコアの指揮者を務めている。日本ドイツリート協会会員。

ソプラノ：藤井 冴 Sae Fujii

愛媛県出身。東京芸術大学卒業。同大学院修士課程及び博士後期課程声楽（オペラ）専攻修了、音楽博士号取得。2014年度岩谷時子 Foundation for Youth、平成 30 年度愛媛県文化協会奨励賞、大学院アカンサス音楽賞、三菱地所賞音楽部門受賞。第 28 回奏楽堂日本歌曲コンクール入選、第 27 回市川市新人演奏家コンクール優秀賞。よんでん文化振興財団奨学生。様々なオペラやコンサートに出演している。女声アンサンブルグループ「ソロイスツ」メンバー。日本声楽アカデミー会員。



アルト：山下 裕賀 Hiroka Yamashita

京都府出身。東京芸術大学声楽科卒業。同大学院修士課程オペラ専攻修了。学部卒業時に同声会賞、大学院修了時に大学院アカンサス音楽賞受賞。第 23 回友愛ドイツ歌曲コンクール学生の部奨励賞。第 21 回コンセール・マロニエ 21 第 1 位。第 61 回藝大オペラ定期公演モーツァルト《フィガロの結婚》にてケルビーノ役で出演。宗教曲では、第 64 回藝大メサイア、モーツァルト《レクイエム》、ベートーヴェン《第九》、デュリュフレ《レクイエム》等でソリストを務める。声楽を、藤花優子、伊原直子、菅英三子の各氏に師事。現在、同大学院博士課程オペラ専攻 2 年次に在籍。



- JR（総武線）地上出口：徒歩 7 分
- 都営地下鉄（新宿線）A1：徒歩 7 分
- 東京メトロ（有楽町線・南北線）5・6：徒歩 2 分

ルーテル市ヶ谷センターホール  
東京都新宿区市ヶ谷砂土原町 1-1

